

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)
 (項目5, 7, 8, 9, 14, 15は評価重点項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	一人ひとりの生活歴を振り返り生活の質の向上につなげます。 地域との関係作りに努め、気軽に立ち寄れる開かれたグループホームを目指します。 上記理念を掲げています。	
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念に基づき、全ての職員が個々の利用者に対して計画を立案し、実行している。また職員採用時には理念を伝え、理解してもらっている。	
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	施設内では理念を見やすい所に掲示しており。運営推進会議では家族、民生委員、市職員等の方々にも説明している。	
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	面会者や見学希望者を通して、気軽に立ち寄っていただけるよう声掛けしている。また、事業所に近隣の小学生がボランティア活動に来ていただき交流している。	
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地区民生委員とも連携し、ボランティアやお茶飲みに立ち寄って頂くなど地区老人会へ呼びかけてもらっている。現在ボランティアとしてシーツ交換の手伝いやお茶飲みに来ていただいて交流を図っている。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	人材育成のための実習生の受け入れを積極的に行っている。		地区の老人会と交流を深めるために、老人会の会合や行事に職員が参加し、協力していきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価及び外部評価の意義、目的を全職員に伝え、職員会議をもち改善策を話しあい、実施している。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議において、評価への取り組みを報告し、参加メンバーから意見をもらい職員会議にて分析しサービス向上につなげている。又、議事録を作成し、来訪者にいつでもご覧いただけるよう、玄関に備えている。		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市主催の研修会等に参加し、行政担当者との意見交換の場をもつようにしている。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	個々の職員が各種研修に参加し、理解を深めている。		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	個々の職員が各種研修に参加し、理解を深めている。職員会議等でも意見交換の場を設け、虐待の防止を徹底している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居契約時、文書に基づいて十分な説明を行ったうえで、利用者や家族の意見もうかがい、手続きをすすめている。		
13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者と職員の良好な関係が構築されており、率直な意見を多く聞くことができ、自身の思いを表すことが出来ない利用者に対しては日々の言動より意向を探り、職員間で検討しより良い関係作りや運営に反映させている。		
14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	月一回の刊行物「ちゃんまいる」を発行、個々の生活の様子や、行事などをお知らせしている。また、金銭については「おこづかい帳」にて出納状況をお知らせしている。		
15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会や面会時に常に問いかけしたり、「ご意見箱」や「要望ノート」を玄関に設置し、いつでも記入いただけるようにしている。又、収集した意見や苦情は法人の苦情対策委員会に報告し、早期に改善するようにしている。		
16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日常的に意見交換はできている。職員会議で話し合い、運営に反映させている。		
17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者の状態やペースにあわせたローテーションを組むために運営者との話し合いをもち、必要な時間帯に職員を確保できている。		利用者の状態により職員の必要な時間帯は変化するので、話し合いは続けていきたい。
18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	併施設との職員の異動があるが、替わる職員は認知症高齢者の介護に対する理解や経験のある職員が配属される。配属時利用者きちんと挨拶をし、早く馴染めるよう他の職員も協力して、工夫している。		
18-2	マニュアルの整備 サービス水準確保のための各種マニュアルが整備され、職員に周知されている。また、マニュアルの見直しが適宜行われている。	各種マニュアルが整備され職員に周知できている。マニュアルの見直しも適宜行っている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	積極的に講習を受講できる環境にあり、研修参加後に職場で報告、情報を共有している。グループホーム職員での勉強会と法人全体学習会があり積極的に参加している。		
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修会で同業者との意見交換や、施設見学などの交流により、質の向上につなげている。		
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	気軽に意見を言い合える環境にあり、悩みの聴取、支え合いができています。		
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	運営者が職員の努力や実績を評価し、意欲向上につなげている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談に来られた際は話を傾聴し、本人の心身状態や思いと向き合い、受け入れられるような関係づくりを心がけ、安心して利用していただけるように努めている。		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族の話をゆっくり聞き、求めていることを理解して次の段階への相談につなげるようにしている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人と家族の要望を把握、一番必要としている支援を見極める。それを元に改善に向けての柔軟な対応を行い、時には他のサービス事業者につなげている。</p>		
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人や家族に見学してもらうことからはじめ、グループホーム職員が面会に行くなど段階的な交流をもっている。また、時には家族の面会の協力も頂いている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>畑での野菜作りや、山菜の調理法など経験を生かした指導をしていただいている。</p>		
28	<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族の相談事には常に耳を傾け、寄り添うことを大切にしてい、一緒に本人を支えて行くための情報を共有している。</p>		
29	<p>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>本人と家族の結びつきを考え、外出など一緒に過ごす事を勧めるなどより良い関係作りの継続に努めている。</p>		
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>一人ひとりの生活習慣を尊重し、大切な人、場所、物を写真で見たり、時には電話をかけたり、ドライブなどに出掛けている。</p>		
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>気の合う人同士で声を掛け合う関係が出来ている。一つの作業を皆が進んで分担して行う際も進まない利用者への手助けや配慮する姿もみられている。孤立しがちな利用者については職員との関わりを通して周囲とのコミュニケーションを図っている。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービス終了後も家族からの相談にのったり、他の施設へ移られた方の顔を見に行ったりしている。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の言動や表情から真意を探り、意向の把握に努めている。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人や家族に今までの生活やどんな活動を好むかお聞きしてサービスにつなげている。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人ひとりの一日の生活リズムを把握して、できることに視点をおき、力を発揮していただいている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご本人や家族から思いや意見を聞き、その人らしさを介護計画に反映させている。		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状態の変化に応じ計画の見直しや検討を行っている。家族には細やかな状態変化や状況はこまめに報告、相談している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活の様子や状態変化など個別の記録や連絡ノートを用い全職員が情報を共有できるよう徹底している。又、それらを介護計画の見直しや評価にも活用している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人、家族の状況に応じて、通院等の支援を行い、個々の安心、信頼、満足を高めるよう努めている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	利用者が地域で暮らし続けられるよう、民生委員、ボランティアと意見交換の場を設け、地域の方へ協力をお願いしている。		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	居宅介護支援事業者や、地域包括支援センターと連携を図り、本人の状態や要望に適したサービスを受けられるよう支援している。		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	併設老人保健施設の中に今年4月より地域包括支援センターのスタッフ配置されており適宜相談している。		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望のかかりつけ医となっている。受診や通院は本人の体調などに応じて家族同行となっているが、不可能なときは職員が代行している。訪問診療に来てもらうケースや本人希望する医療機関への支援もおこない複数の医療機関と関係を築いている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	地域に認知症専門医があり、受診にて治療、対処方法など適切な指示や助言をもらっている。		
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護師、併設病院との連携も密にとれる体制が確保され、気軽に相談できる関係もできている。		
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時、本人に関する情報提供し、頻繁に職員が見舞うようにして、病院関係者や家族と情報交換や相談に努め支援につなげている。		
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	日頃より状態の変化があるごとに本人の思いを大切にすることはもちろん、医療関係者との連絡を密に行い方針を共有している。		
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	本人、家族の意向を踏まえ、医療機関との連携を図り、重度化した利用者を支援している。		
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	新しい住まいに移られても、今までの暮らしの継続が保たれるよう、情報提供を心がけている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>		<p>グループホーム会議やミーティングなど日常的にプライバシー保護について確認しあい、本人を傷つけないよう言葉かけや対応に努めている。</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>		<p>利用者自身が少しでも自己決定できる場面作りに努め、意思表示の困難な方には表情の読みとりや本人の雰囲気をつかちながら自己決定できるように支援している。</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>		<p>基本的には一日の流れはあるが一人ひとりの体調や気持ち、要望に配慮して、個別性を大切に支援している。</p>
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>		<p>個々の生活習慣にあわせた支援を行い、理美容院は家族の理解協力のもと馴染みの所でカットや毛染めをしてもらえるよう連携をとっている。または併設老健に出張で来られる理容師を利用している。</p>
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		<p>野菜の皮むき、野菜切り、盛り付け、味見などを分担していただき、一人ひとりのできる力を発揮していただいている。食事も職員が利用者と同じテーブルを囲んで楽しい雰囲気づくりに努めている。</p>
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		<p>職員は一人ひとりの嗜好物を理解している。その日の様子や雰囲気にあったおやつ等楽しめる工夫をしている。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレ誘導を行い、オムツ使用の方の場合も、本人の生活リズムにあった対応の検討を行っている。		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	基本的には曜日、時間帯の都合はあるが利用者の希望によりいつでも入浴可能であり、入浴時間を楽しんでもらえるよう対応に心がけている。		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	利用者の体調や状況に合わせて、日中の活動を促して、安定した生活リズムを作り、安心した休息や安眠に繋がるよう努めている。時には不穏な状態が続く場合などは家族と相談のうえ医師と相談も行き支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	食事作り、畑の草取り、軽作業など本人の出来ることをお願いし、力を発揮して頂き、できることの実感や感謝の言葉を伝えることにより、役割、生き甲斐となる楽しみにつながるよう支援している。		
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	家族の協力のもと少額のお金を手もとに持ち、事業所に設置された公衆電話を使用している人もいる。家族よりお金を預かり、事業所が管理している人でも買い物や自動販売機などでお金を手渡すなどの工夫をしている。		
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	天気や本人の体調、希望にあわせた屋外活動を取り入れるよう心がけ、季節を肌で感じてもらったり、思い出にひたってもらっている。		
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	本人の希望する場所への外出は、職員の勤務状態や個別での対応をとっている。又、家族への協力をお願いすることもある。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族や知人などに自ら、又は職員に依頼して電話をかけている人もおり、会話が他利用者に聞こえないように設置場所の工夫はされている。 又、手紙の支援も行っている。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも気軽に訪問でき、利用者気持ちよく、楽しく過ごしていただけるよう心がけている。又、他の利用者に気がねなく過ごせるよう2階に家族相談室を設けている。(宿泊も可能)		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	事業所において、身体拘束廃止委員会を設け、勉強会を開催して職員の理解と認識を高め日々のケアにつなげている。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	利用者のその日の気分や状態を観察し、基本的には玄関の鍵をかけないよう工夫をしているがどうしても施錠が必要な場合はその旨を家族に説明し、本人にもなるべく気づかれぬよう理由説明を行っている。		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者の負担にならないようさりげない声掛けや状況把握に努め、昼夜安全に配慮している。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者の状態を把握しながら安全、危険などの見極めを行い、ケースに応じた対応を行っている。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	一人ひとりの状態から予測される危険等は日常的に職員間で情報の共有はでき、未然に防ぐための工夫に取り組んでいる。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	法人合同による勉強会に参加し、急変に備えての応急手当を学び職員全員が身につけている、又、応急後の連絡体制もできている。		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害を想定しての避難訓練を年に2回行っている。地域の協力体制については運営推進会議において呼びかけている。		
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	一人ひとりの力の発揮や抑制感のない暮らしのため起こり得るリスクについては、家族に対し対応策を説明にて理解を得られるよう努め、常に状態変化は家族に報告している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	一人ひとりの状態把握は職員全員ができており、体調の変化が見られた場合、バイタルチェックを行い、様子観察のうえ状況により受診等の対応につなげている。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの服薬ファイルを作成し、職員が内容を把握出来るように、また受診等において医療関係者に返答できるよう既往歴、現病なども服薬ファイルに記録している。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食事摂取量、水分量、食材の工夫や運動の働きかけにより、自然排便ができるよう心がけている。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	歯磨きの声掛けを行い、一人ひとりの力に応じた見守りや介助を行っている。就寝前は義歯の預かりや洗浄を行うなど本人を配慮しつつ清潔保持に努めている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取状況を毎日記録に残し、職員が情報を共有している。個々の一日の栄養摂取総量等をおおよそ把握出来ている。		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	早期発見、早期対応に努めながら、感染症予防対策マニュアルにより実施している。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	定期的に漂白殺菌を行い、調理用具や食器の衛生管理をしている。又、食材の鮮度や状態も確認している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関先には季節の飾り付けをし、親しみやすい雰囲気を出すよう努めている。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	テーブルに季節の花を飾り、行事で使用した物などで部屋を装飾している。また、調光やテレビの音量は常に職員が配慮し、調整している。五感や季節感を取り入れる工夫をしている。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者の席以外にもソファや長イスなどで気のあった利用者同士がくつろぐことが出来るスペースを作っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の使い慣れた品物や好みのもを持ち込んで頂き、安全面にも配慮しながら使い勝手がいいように配置などの工夫にも努めている。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	一定の時間帯や利用者の状況に応じた換気に努め、利用者の様子を見ながら温度調整もまめに行っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各所に手すりが設置され、自立した移動がとり易い環境となっている。利用者の状態にあわせ、個室においても本人の活動性が維持できるよう安全に配慮しながら配置の工夫も行っている。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	本人にとっての分からないことを探り、不安材料を取り除くよう努め、力を発揮できるようにしている。例えば、トイレの位置などは案内板を設置し、場所をわかりやすくするなど工夫をしている。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関先にベンチをおき、利用者が涼んだり、日向ぼっこが出来るようにしている。建物横には畑があり、作物や花を植え、成長や収穫を日常的に楽しんでいる。		